

釜場ユニット工法のご紹介

釜場に水中ポンプを据えて、困っていることはありませんか？

現状の釜場（例）



- ★ ポンプに土砂やゴミが詰まって、吸わなくなった。
- ★ 排水ホースに土砂が溜まり、水を送れなくなった。
- ★ ポンプの吸込み音がうるさくて、苦情が来ている。
- ★ ノッチタンクに土砂が溜まり、掃除が大変だ。
- ★ 連続して吸わせるには、ポンプ番が必要だ。
- ★ ポンプを焼付けて、高額な修理費用がかかった。

釜場ユニット工法（特許工法）で悩みが解消できます！

施工手順



- 1.釜場箇所を掘削（深さ約60cm）します。
- 2.掘削孔の中に、排水ユニットを設置します。
- 3.排水ユニットの周囲をフィルター材で埋め戻します。
- 4.ユニット頭部にホースを連結して、排水します。



（内蔵される水中ポンプの仕様）

標準タイプ（KU-1）：単相100V

出力0.75kw 揚程11m 吐出量0.16m³/分

※内蔵ポンプはご要望に応じて製作可能です。

- ◎ 土砂やゴミは吸いません。
- ◎ 排水ホースが詰まりません。
- ◎ 地下水はフィルターで透明に排出されます。
- ◎ 設置後は連続揚水し、人手は要りません。
- ◎ 逆止弁内蔵でポンプの焼付けを防止します。



株式会社 丸山工務店
〒275-0024千葉県習志野市茜浜1-13-6
TEL047-451-1521FAX047-451-5133
info@mkjp.biz

担当者：瀬戸山、山本

※上記工法は、2021年3月に、特許を取得いたしました。

釜場掘削～釜場排水ユニット設置



釜場穴掘削(人力)



形状(深さ:60cm)



形状(直径:50cm以上)



釜場排水ユニット準備(標準型)

釜場排水ユニット
KTV2-22 200V 2.2Kw



排水ユニット設置(人力)



フィルター材充填



設置完了

